

樹木の冬ごし

新潟県山野草をたずねる会々長

小日向 孝

☆紅葉と落葉

冬が近づき気温が下がり乾燥してくると、落葉樹は、葉の炭水化物・タンパク質・無機塩類などが茎のほうへ移動し、葉緑素がこわれて、葉が黄色くなったり、アントシアൻが生成されて紅葉したりします。落葉直前になると、葉柄の基部に離層というコルク質の組織ができ、葉は通道を断たれて水を失い、やがて自身の重みで落葉します。

◎黄色になるわけ
葉の中のクロロフィルが紫外線をうけて分解され、緑色が消されて紅色のクリサンテミンが表面に出てくるためだというわけです。主なものとして、ハウチワカエデ・カツラ・シナノキ・ユリノキ・イチヨウ・ミズキ・アブラチャヤン・オオバクロモジ・イタヤカエデ・ヤマモミジ・ウリハダカエデ・アワブキ・フサザクラ・アカシデ・マルバマンサク・ダンコウバイ・カジカエデなどです。

◎紅色になるわけ

クロロフィルが紫外線をうけて分解され、緑色が消されて紅色のクリサンテミンが表面に出てくるためだというわけです。主なものとして、ウルシ・ツツジ・ナツハゼ・コハウチワカエデ・コマユミ・ヤマツツジ・メグスリノキ・ヤマボウシ・スノキ・ウスノキ・ナナカマド・ベニサラサドウダン・マルバアオダモなどがあります。

◎赤褐色になるわけ

葉の中の酵素の複雑な働きでクロバフエン（褐色）から赤褐色の色素が形



新潟県山野草をたずねる会機関紙

第9号

会員数68名(12/1現)

事務局
長岡市下条町1406-6

印 刷
(有)佐藤印刷所
TEL 32-0681

成されるためだといわれます。主なものとして次のものがあります。
クリ・コナラ・ミズナラ・ブナ・トチノキ・アズキナシ・ケヤキ・ウワミズザクラ・オクチヨウジザクラ・オオヤマザクラ・ヤマボウシなどです。

◎紅葉になる三条件
紅葉になるには次の三つの条件が必要であるといわれています。
一つに昼夜の寒暖の差が大きいこと、とくに寒については気温が9℃以下になること。二つに晴天が続き紫外線をたっぷりと吸うこと。三つに水気が適当にあって葉が乾燥しないことの条件が必要とされています。

☆冬芽のすがた

冬芽は、寒さにまけないように、また、水が蒸発しないように自らを守るためにものですが、その形態やつくりはいろいろあります。主なものをあげると次のようなものがあります。

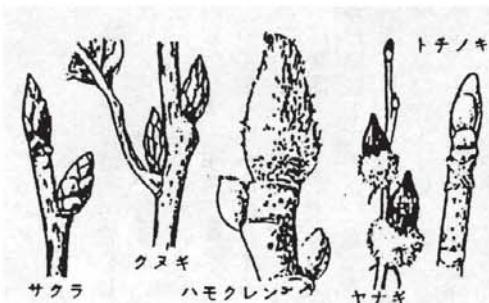
- (1) 他数の鱗片葉で包まれているもの
- サクラの仲間・クヌギ・ケヤキ・ブナ・カエデの仲間

- (2) 一枚の大きな鱗片葉に包まれているもの
- ヤナギの仲間・モクレンの仲間

- (3) 古い葉柄のもとに包まれているもの
- スズカケノキ（プラタナス）・ハクウンボクなど

- (4) 純毛をもつた鱗片葉に包まれているもの
- ハモクレンの仲間・コブシなど

- (5) 鱗片葉の上から樹脂でおおわれているもの
- トチノキ・ボブナの仲間などがあります。

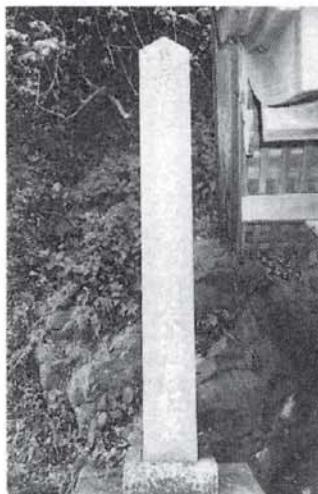


'94・夏の合宿研修

— 岩船・朝日スーパー林道方面

夏の合宿研修は7／24（土）～7／25（日）にかけて行われた。参加者は21名と成功裡でした。
両日共天候に恵まれたことと会員の体調も良く有意義な研修が行われた。
主なコースは、朝八時三十分出発し岩船神社の社叢林（県天然記念物）の調査いやブツバキ・アベマキ・ケヤキを中心とした混生林。宮豎八幡宮社叢林（国の天然記念物）の調査、25日は朝日スーパー林道沿のブナ林の調査と周辺観察を終えて下山し昼食、途中、山王森緑地環境保全林＝日枝神社社叢林（県指定）－アベマキ林を観察して帰路についた。それぞれ特徴ある植生で心に残る研修であつた。

夏の合宿研修は7/24
(土)～7/25(日)にかけ
て行われた。参加者は21名と成功裡で終った。



これらの木は今でも木曽の五木と称さ
れている。この他「留木」「切畑」の
制限などが矢継早に設けられたのであ
る。

またブナ帯各地に残つてゐる「山林
宝」という山林を保護する取り決めも
あつたといわれる。亥（い）寅（とら）
丑（うし）の年には山の民たちは木を
切ることを控えた。十二年の中三年間
は「自然保護年」であつたのである。

自然から収奪し過ぎることを、自ら
タブー（禁忌）設定することで厳しく
戒めた先人達、学ぶべき多くを知つた。

尾張藩のとつた木曽の山林保護の改革は徹底していた。寛文五年（一六六五年）に「留山」の制度が設けられて、村人達の立入一切が禁じられ、さらに享保五年（一七二〇年）には、ひのき・さわら・こうやまき・あすひ・ねずこが停止木に指定された。これらの木は自分の木であって伐採は無論のこと、枝や葉をおとすことすら許されなかつた。俗に「木一本首一つ」といわれ、この掟を犯した場合は本人は勿論、庄屋・年寄役までが重刑に処せられた。これらの木は今でも木曽の五木と称されている。この他「留木」「切畠」の制限などが矢継早に設けられたのである。

過日、木曽路への旅をした。私はいま先人達がいかに行きかい、いかに生活してきたかを知り、さらに現代文明のもたらす「開発」という現実の前に、その将来をいかに創造するかを考えられているかを知りたかった。

木曾路に学ぶ

郡司哲三

!!育て・ふるさとの樹!!

十月十六日(日)秋の野に学ぶ会と併せ、みどりを育てる活動として市内小曾根神社境内にアカガシ・シリダモの苗木の植栽を行いました。

この活動は、本物のみどりで開む家と町をつくり、人々が健康で生々発展していけるみどり豊かな生活環境づくりを目指して、平成4年から取り組んでいます。

地域の潜在自然植生群の実生育成を目指して、ウラジロガシ・アカガシ・シリダモなどの実を各自ボットに播種して育成する活動も行いました。十センチほどに生長した幼苗、3年後には移植の時期を迎えます。

「カシノキ一本三家族を養う」という名言があります。長岡を中心とする平野部の潜在自然植生はヒメアオキ・ウラジロガシ群集に対応します。ふるさとの木によるふるさとの森こそ敵しさを克服して育ち長持ちのする本物の森です。人々の命を守る森なのです。



一 平成6年度活動報告 一

★テーマ 植物の生きざまに学ぶ

1. 早春の山野草を訪ねる
 - 方面 能生白山神社・出雲崎
 - 期日 3月27日(日)
2. 春の野を歩き山菜を食べる会
 - ①●方面 東山
 - 期日 4月29日(金)
 - ②●方面 川西町・権現山
 - 期日 5月8日(日)
3. みどりを育てる会
 - ①樹木種子の播種 ●4月29日(金)
 - ②樹木の植栽(アカガシ・シリダモ 各2本)
 - 10月16日(日)
4. 夏の植物観察会兼合宿研修会
<合宿研修>
 - 方面 岩船・朝日スーパー林道
 - 期日 7月24日(日)~25日(月)
5. 秋の野に学ぶ(キノコの識別、同定、冬芽他)
 - ①●方面 上川村・ブナ原生林
 - 期日 9月25日(日)
 - ②●方面 北魚沼・川口
 - 期日 10月16日(日)
6. 学び合う会
 - 場所 長岡市内 「まつや」
 - 期日 12月3日(土)
 - 内容 ○ビデオ映写、○総会(活動反省、会計中間報告他)、○懇親、○忘年会
7. 機関紙の発行 第9号
 - 時期 12月3日(土)
 - 内容 活動のあしあと・感想など

山野草に 思いを寄せて

清水 林

去年品田さんの紹介で、入会させていただきました。

いまでも山が好きで、友達との山歩きや、市のふるさとめぐり等に参加してきましたが、山菜を探ることは初めてといつていいくらいでした。去年は春の東山方面と秋の津南二回、今は川西の権現山、夏はスーパー朝日林道、秋の上川のブナ原生林、川口のキノコ採りと四回、皆初めてのこところばかりでそれ思い出されます。

今年は川西の権現山、夏はスーパー朝日林道、秋の上川のブナ原生林、川口のキノコ採りと四回、皆初めてのこところばかりでそれ思い出されます。今年は川西の権現山、夏はスーパー朝日林道、秋の上川のブナ原生林、川口のキノコ採りと四回、皆初めてのこところばかりでそれ思い出されます。今年は川西の権現山、夏はスーパー朝日林道、秋の上川のブナ原生林、川口のキノコ採りと四回、皆初めてのこところばかりでそれ思い出されます。今年は川西の権現山、夏はスーパー朝日林道、秋の上川のブナ原生林、川口のキノコ採りと四回、皆初めてのこところばかりでそれ思い出されます。

自然の中でいたくのは何にもましておいしく、これも小日向先生始め役員の方々のご苦労があつてのことと感謝いたします。

採れたものでてんぶらや汁をつくり自然の中へいたくのは何にもましておいしく、これも小日向先生始め役員の方々のご苦労があつてのことと感謝いたします。

あこがれていた春の山菜、秋のキノコ、森の観察等自然を大切にする良い会に入れていたいたことを喜んでいます。

欲をいえば歩くこともとりいれてもらえれば運動にもなりよいのではないかと思いますが、一日の中では無理かもしれません。

来年もできる限り出席したいと楽しんでおります。

星とたんぽぼ

郡司誠子

先日、友人より「金子みすず童謡集」をいただきました。明治36年に生まれ、26才の若さでこの世を去った詩人ですが、その作品には心うたれるものが多くあります。その中の「星とたんぽぼ」は私の好きな詩です。

青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしすんでる。
星のお星はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、

ちつてすぐれたたんぽぼの
かわらのすきに、だアまつて、
春のくるまでかくれてる、
見えぬけれどもあるんだよ、

この人の詩は忙しい現代の中で、

私達が忘れていた大切なものを思い出させてくれます。目に見えないけれども大切なもの……。

春の山野を歩くと、可憐な花々が私達を迎えてくれます。その美しさは勿論のこと、その底にひそむ自然の力の不思議さや生命力が最も知らない花から伝わってきます。もっと私達は謙虚に自然を見つめ、自然から様々なものを学びと

り、しつかりと子供達に伝えていきたいものです。

いつか、屋久杉の

根方で……

関咲子

とにかく立っているか寝ているかしら出来ない。他のことをすると下半身に痛みが走る。お風呂も、入っている時はよいが上がった後に下肢に激痛が来、地獄の責苦に遭う。こんな状態が四年ほど前の私であった。

スポーツとは言わないから、せめて人並みくらいに歩きたい。こんな思いから昨年の夏、この「山野草をたずねる会」に入っていた。こんな思いただいた。他にも信濃川河岸段丘ウォークや越路町の町民登山などに参加して、「歩く」とを重ねた。



ただこれだけ機能が戻ったわけではないと

思うが、最近は痛みが気にならなくなつた。一緒に野山を歩き、自然の良さに浸る楽しさを教えてくださった皆様に、心から感謝している。

去年のタブの森は、ウゥウッという感激であった。いつも見馴れている落葉の雜木林とは違い、エナメル質の深い光を放ち、山全体が盛り上がり見えた。

真下から見上げた奇怪な枝ぶりも迫力があった。今年はブナの森に優しく包まれ、森林浴を堪能した。小日向先生のおっしゃる「親分・子分」の関係的な見方も面白かった。何しろ、会の雰囲気が和やかで気どらないから、森も魅力的であるがままの姿で私たちを呼んでいたのにちがいない。

いつか、皆さんと屋久杉の大きな根方でおにぎりを食べたいと思うが……。

柿蘭との出会い

矢澤綾子



二、三日後、柄尾への帰り道、比礼の旧道を、ゆっくりと車を動かし、何気なくのぞいた山裾に、あの柿蘭が静かに、そっと花を咲かせておりました。

その後、主人と柿蘭を求めて、幾山も歩き会いであつた事を覚えています。

その後、主人と柿蘭

を求めて、幾山も歩きましたが、なかなかその姿には出会うこと出来ません。たまたま、小千谷地内で、赤の「ホタルブクロ」を見つけた時、その近くに、柿蘭が、ひとつとりと花を咲かせておりました。

現在、我家には、ある収集家の方より、無理を言って、分けて戴いた、「越の黒髪」「赤軸」「赤花」「黄花」と最初の出会いの柿蘭、友人、近所の方等より戴いた株が、三十数鉢あります。

又、来年は、どんな山野草に、出会えることでしょうか。

柿蘭を、見つけた時の感動は、今でも私の忘れられない、良い想い出一つとなつております。

数年前、六月のある茶会の席に、小さな花器に飾られた花、何とも控えめでいて、凛とした花、それが柿蘭。

◀◀秋の野に学ぶ▶▶



九月二五日は、私が勤務している上川村に皆さんをご案内する日です。私は会長さんから「上川で観察会をしますから」と言われた時、すぐに考えたのは峰越林道のブナ林でした。上川の自然の素晴らしさはたくさんあるのですが、短時間に味わっていただくには峰越林道が一番だろうと思いました。ただ心配だったのは、道路がせまいことと山が深いので遭難の心配があったことでした。八月末に自分の車で事前調査に行ってみて何とか行けると思ってご案内しました。

私は、昨年の十一月にこの峰越林道を案内されて紅葉の見事さに度肝を抜かれてしまいました。それ以来上川村の自然の豊かさに日々感動しております。そこに皆様をご案内できてよかったです。なあと思ております。

当日はあいにくの小雨交じりの天気でしたが、調査する頃には晴れて、野外のお汁もうまくできました。樹齢何百年も経たブナの巨木の中はいろいろな樹木が密生していて人間の侵入を拒んでいるようにも感じ、その力強さに圧倒される思いでした。

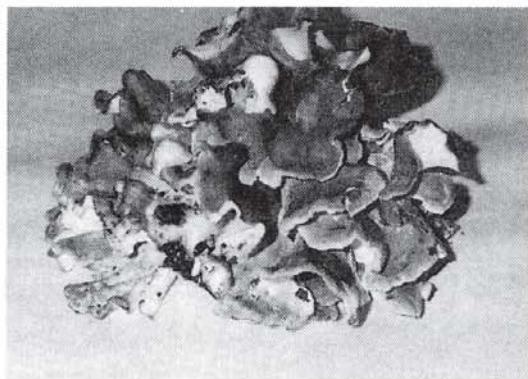
九月二五日は、私が勤務している上川村に皆さんをご案内する日です。私は会長さんから「上川で観察会をしますから」と言われた時、すぐ

豊かな峰越林道
山野草をたずねる会副会長
小幡和雄

ブナの倒木にたくさんナラタケが生えて大収穫でした。皆様のニコニコ顔を見てホッとしました。あの豊かな峰越林道が開発されずにずっとあのままでいてほしいと私は願っています。



カバイロツルタケ



マイタケ



チャホウキタケ



イグチ

私の山野草懐古

長谷川 和子

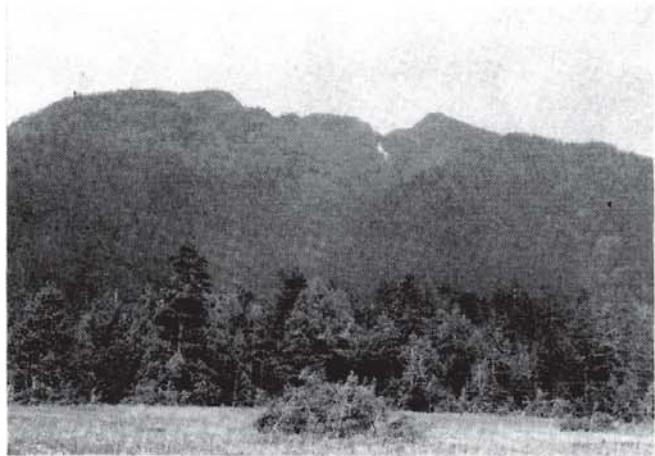
暑い／＼例外の夏が終わり何時の間にか木枯しが吹く頃となりました。

私の最初の参加は気軽に誘われて登った妙高山行、朝早く宿を出発し暗い山道をライトを照らしながら幾台もの車が次々と走る姿はわく／＼したものです。

私は高齢になつてからの入会、草花の名前もわからず、聞いてもすぐ忘れ、足腰はいたみ、特に右のひざが悪く坂道は無理。皆さんのように活発に動く事が出来ず足手まといになつております。でも一回一回参加する度に新しい事に出会い、少しづつ知識を得て参りました。森林浴となか／＼行きない処へ連れて行ってもらえて楽しんで参加させてもらっております。

此の夏の村上方面の研修会、宮堅神社での変ったコルク状の木肌の大木の群生、あんな樹木があるなんて思つてもみませんでした。村上城趾の坂道とても大変でした。又、水が枯れ湖底が見えそうになつた三面川ダムの様子、周辺の山々、朝日スーパー林道一部の通過、民宿での一夜、皆楽しい思い出となりました。

草木の自然界の営みなどを聞き広大の夢に思いをはせる事もあります。今秋のキノコ採りは都合つかず参加出来ず残念でした。又、来年もよろしくお願ひ致します。



おもいで

永井トシ

日足も短くなりもうすっかり冬が來た様で、街路樹の下は赤、黄と落葉が敷きつまれ、まるでジュウタンを広げた様な彩やかな光景が目に映ります。

山野草の会に参加させて戴いて、早いもので六年を過ぎようとしており、思い出が走馬燈の様に頭をめぐります。自然の素晴らしいさにひたりながらの活動がどれいものかと感じない

散策、沢山の植物、いろ／＼と教えて戴き、毎回の昼食、山での天ぶら、キ

ノコ汁、おにぎりを食べながらの気分は最高でした。何時も御汁の具を用意して戴く先生に感謝しています。会員であればこそ参加できた神社での植樹は記念に残るすばらしい事でした。皆さん、樹木の大きくなつていく姿が楽しみですね。五頭山登山での事、太って居る自分だけに苦しくて、リュックのジュースも投捨て、マイペースで歩き、やつと頂上までたどり着いた時の事、とても忘れる事ができません。

十月十六日キノコ採りでは

何も分からぬまま林の中に入りました。毒キノコでもかまわず目につく物を探つた中にはなんとダイコクシメジ、マイタケ等もあり皆みんなにびっくりされました。このうれしい気持、こんな戦果は初めての事です。夕食時家族に話を実をうれしく思います。

「植物の生きざまに学ぶ」をテーマとした活動や内容の成熟、活動の足跡である「かしのみ」の充実をうれしく思います。

人間と生命共同体の関係にある植生、その生きざまに接するとき、人々が眞の共同体の一員として、ビオトープ精神に立つた責任ある行動がとれないものかと感じないことを願っています。



アミタケ

編集後記

「かしのみ9号」が皆様方のご協力によりできあがりました。

「植物の生きざまに学ぶ」をテーマとした活動や内容の成熟、活動の足跡である「かしのみ」の充実をうれしく思います。

人間と生命共同体の関係にある植生、その生きざまに接するとき、人々が眞の共同体の一員として、ビオトープ精神に立つた責任ある行動がとれないものかと感じない行動がとれないものかと感じない

(小幡・品田・吉田)